

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391400070
事業所名	グループホームあさひ鳴海

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2)	評価
	町内会に加入し、回覧板を回してもらったり、地域の情報をもらったりしている。日常の散歩時に近隣の人たちと挨拶を交わしている。地区の祭から神輿や縁起物の猩猩が事業所までやってきてくれる。事業所主催の祭に地域の人たちを招き、大勢の参加を得られている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3)	評価
	運営推進会議は年に6回、町内会長、民生委員、いきいき支援センター担当者などを構成メンバーとして開催されている。地域の情報やいきいき支援センター主催の行事情報などをもらい、事業所利用者が参加できることを知り、行事に取り入れている。事業所の行事の報告もしている。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目: 4)	評価
	認定更新などの機会を使って連絡をとり、介護保険改正などで質問があれば相談にのってもらっている。いきいき支援センターの担当者に運営推進会議に参加してもらっており、センターの主催する行事の情報を得たり、職員が研修へ参加している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6)	評価
	家族が事業所を訪問した時や、利用者の様子やプランについて電話連絡をとる際に、意見や要望も聞くようにしており、具体的な要望があれば申し送りや会議で検討し、支援にいかしている。不定期ではあるが、年に二度ほど利用者の様子をとった顔写真と、担当者からのコメントを記した便りを事業所の行事報告に添えて家族へ送付されている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	×	○	○	○	○	○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認 (記録、写真等) できること。

外部評価項目	確認事項
	(例示)
2. 事業所と地域のつきあい	① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
	(例示)
3. 運営推進会議を活かした取り組み	① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
	(例示)
4. 市町村との連携	① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
	(例示)
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。